

報道発表

令和2年1月28日
名古屋税関
豊橋税関支署

令和元年12月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和元年12月分について、輸出は「鉄道用車両」などが増加したものの、「自動車」、「鉄鋼」などが減少したことから対前年同月比29.5%の減少となった。また、輸入は「果実」などが減少したものの、「自動車」、「粗鉱物」などが増加したことから、同15.0%の増加となった。

その結果、差引額は828億円（同48.3%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	1,602億円	▲29.5%	774億円	+15.0%	828億円	▲48.3%
	6カ月連続の減少		3カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 鉄道用車両	13億円	全増	輸入	増加品目	(1) 自動車	685億円	+20.2%	
		(2) その他の化学製品	21億円	+28.7%			(2) 粗鉱物	3億円	+129.5%	
		(3) 精油・香料及び化粧品類	5億円	+27.0%			(3) 魚介類及び同調製品	5億円	+50.8%	
	減少品目	(1) 自動車	1,515億円	▲30.6%		減少品目	(1) 果実	0億円	▲98.2%	
		(2) 鉄鋼	14億円	▲33.1%			(2) 鉄鋼	20億円	▲26.7%	
		(3) 荷役機械	5億円	▲51.6%			(3) 有機化合物	4億円	▲52.2%	
	地域別動向					地域別動向				
	北米、西欧が減少、大洋州は増加					西欧、北米が増加、中南米は減少				

（参考）ドルレートは、108.95円（前年同月比3.7%、4.17円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。